

特別番組「戦後 70年 未来へ生きる私たちへ」

8月11日のレポートで案内したように、西三河の刈谷・安城・高浜・知立・碧南・西尾をエリアとするキャッチネットワークで表題の番組がお盆に放映された。写真は送ってもらったDVDから撮ったものである。

10年ぶりの「スタジオ出演」で、猛暑のなかの録画撮りとなった。やはり緊張の連続で、まさに「キンチョーの夏、西三河の夏」であった。放映された映像を見るのも緊張するものだ。番組を見た西尾のある人から、「時間軸と地域軸」という切り口が分かりやすかったという、嬉しい感想を聞くことができた。

自分でも気に入ったところは、写真下のように番組冒頭のコメントだ。「歴史から学ぶことは、現在そして未来に生きる私たちにとって大切なことです。とりわけ国会で安保法案が議論され、国民の関心も高まっています。今まさに戦争と平和が問われています」

それと最後に、「この地域を持続可能なものにしていく上でのキーワードは、平和・自治・福祉・防災・環境だ」と述べたところだ。

番組は次のテーマでまとめられ、地域の人たちへのインタビューで構成されている。

- ・ 諸外国と初めて無線通信 250m の鉄塔 依佐美送信所
- ・ 知立に在った軍需工場 中島航空金属 知立製造所
- ・ ものづくりのまち 刈谷 戦前戦後の産業にかける思い
- ・ 農業地安城を支えた先人たち 苦労と努力でつくられた土壌
- ・ 戦時中の市民生活を支えた 農業のまち 碧南市の農家
- ・ 先人たちによる茶業の発展 西尾市の茶業を支えた人々
- ・ 戦中から戦後の高浜 高浜市 窯業の遷移
- ・ 絵画を通し心から平和を 悲惨な戦争体験を紡ぐ思い
- ・ 現在に残る戦争の遺構 西尾市小間町の防空壕
- ・ 忘れてはいけない戦争の怖さ 今の子どもたちに伝えたいこと
- ・ 19人が残した戦争体験記 現在に残したい思いとは
- ・ 戦争を生き 戦後を生き 次に伝える 戦争の記憶
- ・ 少女時代に戦争を経験 詩人 茨木のり子の思い

数多くのインタビューとともに貴重なのが、この地域の戦争遺構を発掘し、映像資産として残していくことだ。地域メディアとして、KATCH ならではの情報収集力と取材力が活かされた特別番組であった。また「キャッチ」してもらえるだろうか。

(2015年8月25日)

